



横浜陶芸友の会だより

第 166 号

平成 28 年
11 月 1 日発行

『第 38 回 作品展』のお知らせ

事業部

『作品展』の会場は、昨年度と同じ東神奈川駅に隣接する「かなつくホール」です。

申し込み方法と作品展の詳細については、会報の 11 月号と一緒に会員の皆様に送付いたしました。

今年度から、開場時間に変更になります。10 時から 17 時までと、終了時間が一時間短くなります。ご了承ください。

また、出展された方をお願いですが、会期中半日でも結構ですので一度は当番をお願いしたいと思います。

会員皆様方の一人でも多く、一点でも結構ですので、上手、下手ではなく、陶芸を愛好する者として参加していただきたいと思ひます。

【会期】平成 29 年 1 月 10 日(火)～15 日(日)

【会場】かなつくホール A 室

(JR 東神奈川駅 下車 3 分)

【特設コーナー】「湯飲み茶碗」

※特設コーナーの出展料は無料です。

・今までに出展された作品でも結構です。お気に入りの「湯飲み茶碗」をぜひ一点、出展されることを期待しています。

《役員会の報告》

8 月 27 日(土) 18 時半より会長・副会長、各役員 15 名の会員が集まり、各議案について報告と審議を行いました。

○作品展について

会場 かなつくホール

日時 平成 29 年 1 月 10 日(火)～

15 日(日)

○春期焼成会の報告

○各部報告

(専修部・事業部・広報部・総務部)

※広報部に鍋島弘義さんが入部されました。

(事業部兼任)

※広報部よりホームページ(HP)の

リニューアルについて企画案がだされ、内容の更新、及び外部に対する見易さなど、現在ある HP の範囲内でリニューアルしていくことが承認されました。

皆様作陶に一層励んでいる頃と思ひます。

作品展で数多くの力作を拝見出来ることを楽しみにしております。

《次回役員会の予定》

11 月 19 日(土) 18 時 30 分

杉田地区センター集會室 A

総務部長 池見

ホームページリニューアルのお知らせ

■会員ページができました！

横浜陶芸友の会公式ホームページに、このたび会員一人ずつのページを新設いたしました。過去の作品展の出展作品の写真を中心にまとめました。まずはぜひ、ご自分のページを御覧ください。作品説明や陶芸への想いなど、掲載希望の文章や写真を広報部(鍋島)まで郵送またはメール(HP 担当 yokotohp@gmail.com)でお送りください。

■専修部のページができました！

これまで会報をそのままホームページに載せていましたが、専修部の活動を紹介するコ

「ナー」をホームページに新設いたしました。写真が会報よりも大きく掲載されていますので、じっくりご覧いただけます。過去の貴重な活動の記録も、順次更新してまいりますので、どうぞご期待ください。

■ほかにも…

いろいろ、ちよこちよこ修正や、懐かしい写真など…？ 漫画のページもできました。ぜひアクセスしてくださいね。

まだまだ更新していきます。ご意見、ご要望、ご感想など、心よりお待ちしております！

訃報

長く事業部やホームページ委員会で活動された太田公治さんが平成 28 年 8 月 18 日にご逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りするとともにお知らせ申し上げます

写真は
2014 年 8 月
陶房にお伺い
した時撮影

「太田さんの思い出」

大内 広子

何度も窯場見学と一緒にしました。

太田さんが作ってくれた道具類のナイフや、コテ、水に浮くしつぴきは、使い勝手が良く、今でも重宝しています。

26 年前（1990 年）太田さんは仕事の関係で韓国に詳しく、当時役員だった小林君（故人）上原君（退会）と「韓国やきもの探訪」へ行く計画をしていました。

男性参加メンバーはすぐ決まり、男だけではむさくるしい…と、仲の良かった川村さん（退会）と私に、声を掛けてくれました。

金浦空港から、失われた利川焼を再興した窯場見学、韓国宮廷料理、ショッピング等、あまりに魅力的な内容に、おしゃべりな女二人は、周りの皆に声を掛け、太田さんは 5、6 名を引率して韓国旅行に行くつもりが、なんと！ 総勢 17 名のメンバーとなり、そのあと何度も「こんなはずじゃなかった」と、ぼやかれました。

太田さんは大変だったと思うけれど、凄く楽しい旅になりました。

あの頃の韓国はまだ貧しく、日本人に対しての敵対心が強く、買い物時、日本語を使っただけはダメ！ 大声で笑ってはダメ！と、ガイドさんに言われました。

でもそんな状況の中、何年経ってもこの韓国行は、太田さんに感謝です。

写真は利川焼窯場ギャラリーの太田さんと私

たまたま声を掛けてもらえなかった仲間には、うらやましがられて、その後 2008 年友の会窯場見学で、再度韓国行を催行しました。2 度目の韓国も太田さんが仕切ってくれました。

太田さんは轆轤が上手で 3 kg の土を高さ 30 cm の筒型にあげるのをいとも簡単、と、こなし、頭が痛くなりそうな五角形のタタラの組み合わせ大壺は、今も思い出の 1 品です。

料理も上手で矢祭の別荘にお邪魔した折には、前庭の竹林で竹の子狩りをして、皆に手作りの竹の子料理を振る舞ってくれました。料理はわざわざ京都まで習いに行ったり、ある時期カメラに凝ったりと、趣味多才。

太田さんの工房にはご本人の作品（陶芸、写真）が飾られてありました。

HP 委員会はいつも太田さんの工房を使わせてもらっていました。

最近では体の調子が悪かったこともあり、作陶よりも、美味しいものを食べ、好きなお酒を飲み、おしゃべりをする、そんな機会でお会いする方が多かったです。

春に入院し、夏に訃報を知りました。長いこと陶芸の仲間として仲良くしてくれたことありがとうございます。

難しい電気の話、釉薬の話、土の話がありがとう。

ここに心よりご冥福をお祈りします。

合掌 9月彼岸

「太田さん ありがとうございます」

清水 あや子

太田さん

「嘘は嫌い」と 正直ものだったね

正直すぎて いろいろぶつかったけど

そんな太田さん 好きだった

太田さん

旅行会の時は 言いにくいことを

ずばり 注意して下さい

窯場見学会 鹿児島の下見時は

すごい大雨の中

疲れていたのに

ハンドル握ってください

ありがとう

太田さん

千葉の「窯たき」焼成については何もわからぬ私に

沢山のことを教えてくださった

パチパチ木の燃える音を聞きながら美味しいお酒を飲んだね

夜空の炎の色を見ながら 「まだ まだ」と 悩んだり

窯出し時「いいね」と 感激したり 「あれ まだ まだだった・・・」と

がっかりしたり いろいろあったね 楽しい窯たき

ありがとう 太田さん たくさん楽しい思い出ありがとうございます お世話になりました

千葉の「窯たき」



第 32 回作品展 太田さん作品

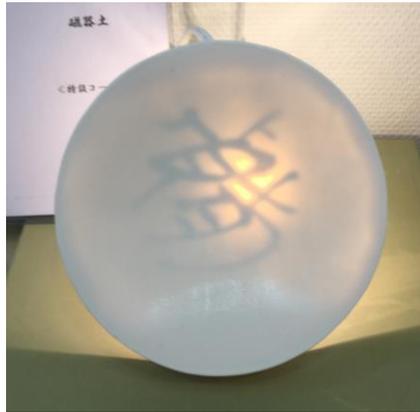


第 30 回作品展 太田さん作品

陶陶さん

第 88 号

あかほし



【白磁(夢)を作るきっかけは?】

「37回作品展」の作品について
高橋光男会長に 聞いてみました

来客がほのぼのとした気持ちになれる器を作陶したく、白磁で毎回違う模様(文字等)を盛りつけた食材を食べた後に 裏側からライティングして写し出して驚かせる。



【作陶方法はどのよう?】
鑄込み技法で薄く作り(特に底になる部分 焼成時に熱により中央部がくぼむように)文字が裏側の電球により浮かび上がるように。文字はトレンシングペーパー(薄くて光を通す紙)に、その都度来客の好きな文字、模様を書き込み裏面に貼り付ける。

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより
第 166 号

(平成 28 年 11 月 1 日発行)
発行人 横浜陶芸友の会
会長 高橋 光男

編集責任者 広報部長 吉良謙

編集後記

●パソコン相手に小松さんとの二人三脚、135号からの30回の編集作業は二人だったから楽しかったけど、今号からは作業より解放されてホッ!としています。有難うございました。 信岡

●11月号は新たにメンバーが加わり、作業分担でテキパキと編集作業が進みました。HPもリニューアルが進んでおります。是非ご覧ください。 季楽軒

●今回から 広報委員会に加わるようになりました。奇しくも 事業部で長年一緒に活動をしていた 太田さんの計報を最初に書くことになりました。この「友の会」を支えてきた方を失いとても残念です。私も 出来る範囲でこの会を支えていきたいと思います。 鍋島弘義